Technics®

取扱説明書

ダイレクトドライブ
デジタルターンテーブル

品番 SL-DZ1200

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4～5ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT7113-1S

主な特長

本機はCDやSDオーディオをアナログ感覚でプレイするDJ向けダイレクトドライブ デジタルターンテーブルです。アナログターンテーブルの操作感を残しつつデジタルならではの操作性・機能を備え、新たなプレイスタイルを実現できます。

本機上面

SAMPLE PADS
- 音楽の一部の区間を4つまでメモリー。
- 2つまでの重複再生、ワンショット、ループの演奏切換も可能。

SD CARD LOAD、SAVE
サンプルパッドとキューポイントなどのパネル上のデータをSDメモリーカードにセーブ、ロード。

VINYL SIM
アナログプレーヤーのような音をシミュレーション。

DYNAMIC FX
スリップ面を操作するときに音質が変化。

CUE PADS
4つのキューポイントをメモリー。
瞬時にそのポイントから演奏を開始。

FORWARD、REVERSE
プラッターの回転を反転させ、通常演奏、リバース演奏を切換。

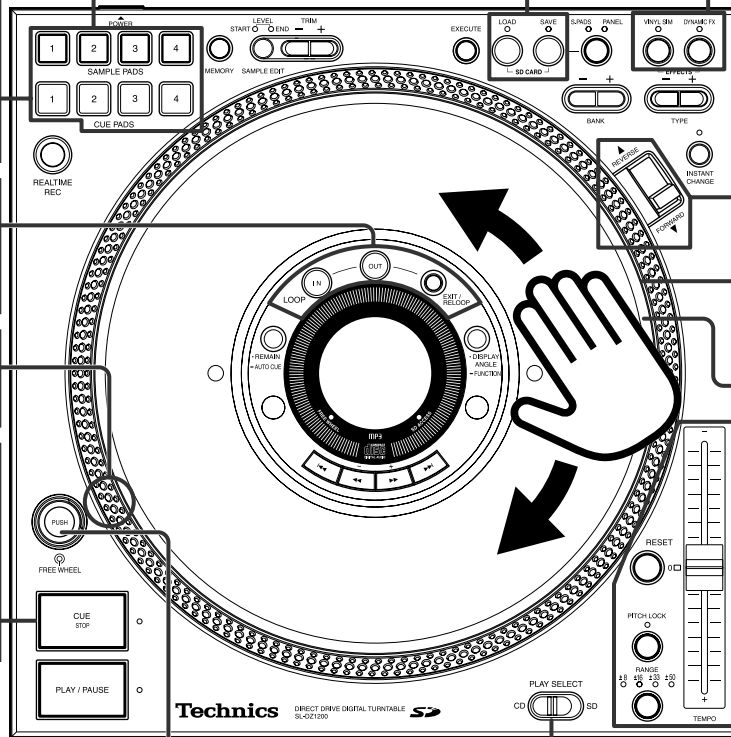
LOOP
好みのIN～OUTポイントを設定して、その間をループ演奏。

プラッター
プラッターの回転と同期してメディアを演奏。

ストロボ縞目
赤色ストロボイルミネーターでテンポ変化を検出。

スリップ面
スリップ面の回転を手で変化させ、ブレーキ、スピン、スクラッチなどのDJ演奏が可能。

CUE
- キューポイント設定
ポイントを記憶。
- バックキュー
再生中に設定したキューポイントに即時戻り、ポーズ状態で待機。

TEMPO
- 演奏速度（テンポ）をコントロール。
- RANGEボタンで±8～±50%の4段階設定。
- RESETボタンで瞬時に通常演奏速度に戻る。
- PITCH LOCKボタンで曲の演奏速度を変えても音程を保つ。

FREE WHEEL
プラッターをフリーホイール状態にできる。

PLAY SELECT
CD、SDの再生選択。

本機前面

SD CARDスロット

CDスロット（スロットインタイプ）

本機後面

TURNTABLE
DJプレイするためのモード。

CD PLAYER
オーディオプレーヤーとしてのモード。

もくじ

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

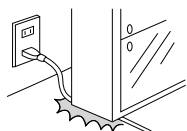
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

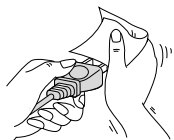
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

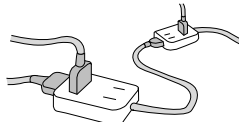
⚠警告

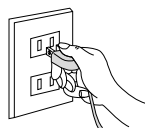
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

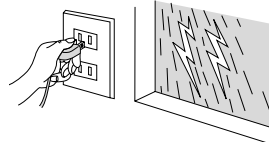
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠警告

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

設置について

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

- 機器が破損してけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD挿入口には手を置かない

指に注意

- CDが排出されたとき、当たったりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前や上にものを置かない

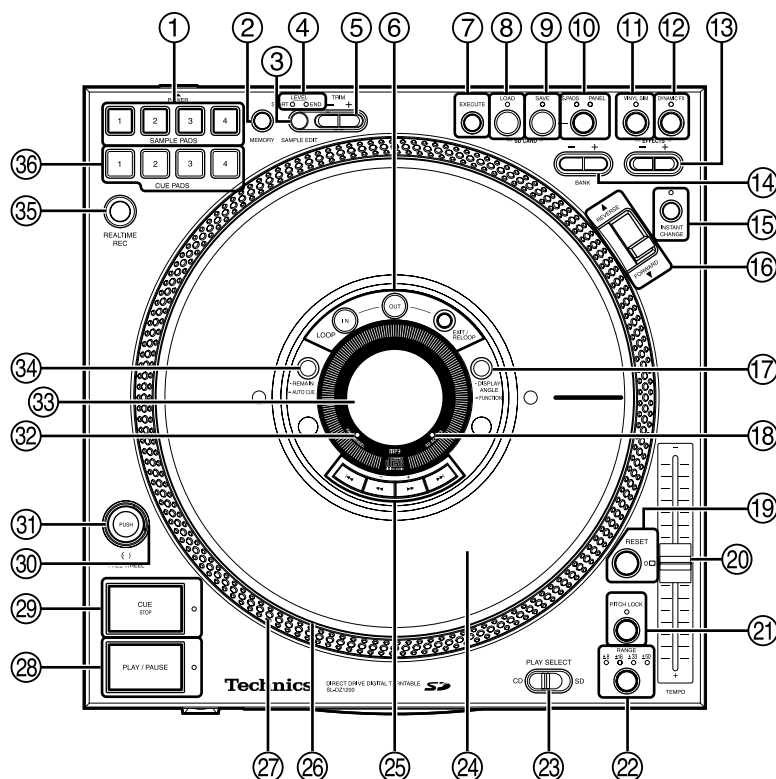
- CDが排出されたときや、ものに当たって倒れたりして、けがの原因になることがあります。

ひび割れ、変型したディスクやハート形などの特殊形状のディスクは使わない

- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

各部のなまえ

本体上面

①などの数字はイラスト番号、20などの数字は参照ページです。

① 1～4 SAMPLE PADS（サンプリング音録音、再生、消去）ボタン、ランプ …… 20 21

② MEMORY（サンプルパッド再生モード、エディット記憶）ボタン …… 20

③ SAMPLE EDIT（再生モード、エディット項目選択）ボタン …… 20 21

④ START（開始点）ランプ、END（終了点）ランプ、LEVELランプ …… 21

⑤ －＋TRIM（データ変更）ボタン …… 21

⑥ LOOP演奏ボタン …… 19
IN（ループ演奏開始点設定、消去）ボタン、ランプ
OUT（ループ演奏終了点設定、消去）ボタン、ランプ
EXIT/RELOOP（ループ演奏解除／演奏）ボタン

⑦ EXECUTE（実行）ボタン …… 22

⑧ LOAD（SDメモリーカードデータ読み込み）ボタン、ランプ …… 23

⑨ SAVE（SDメモリーカードデータ保存）ボタン、ランプ …… 22

⑩ S．PADS、PANEL（SDメモリーカードセーブモード選択）ボタン、ランプ …… 22

⑪ VINYL SIM（アナログプレーヤーシミュレーション）ボタン、ランプ …… 21

⑫ DYNAMIC FX（特殊効果）ボタン、ランプ …… 21

⑬ －＋TYPE（シミュレーション、効果タイプ選択）ボタン …… 21

⑭ －＋BANK（キューバンク、ファイル番号選択）ボタン …… 18 22

⑮ INSTANT CHANGE（即時演奏）ボタン、ランプ 14

⑯ REVERSE FORWARD（演奏方向切換）つまみ 17

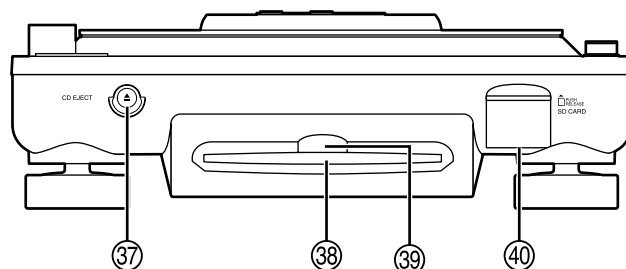
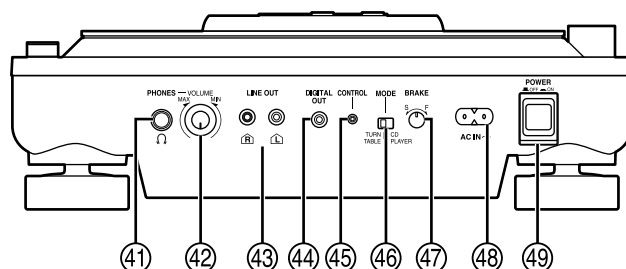
⑰ •DISPLAY ANGLE —FUNCTION（表示方向設定、ファンクション設定）ボタン …… 14 15

⑱ SD ACCESS（SDメモリーカードアクセス）表示 11

⑲ RESET（通常演奏速度）ボタン、ランプ …… 17

⑳ TEMPO（演奏速度、音程）調節つまみ …… 17

㉑ PITCH LOCK（ピッチ固定演奏）ボタン、ランプ 17

㉒ RANGE（演奏速度可変レンジ設定）ボタン、ランプ 17

㉓ PLAY SELECT（再生メディア選択）つまみ …⓭
㉔ プラッタースリップ面 ……………………………⓰
㉕ ⏮ ◀◀ − ▶▶ + ⏭（トラックスキップ、サーチ、設定）ボタン ……………………………………⓭ ⓮
㉖ プラッター …………………………………………❽
㉗ ストロボ縞目 ………………………………………⓱
㉘ PLAY/PAUSE（再生／一時停止）ボタン、ランプ ⓭
㉙ CUE、STOP（頭出し設定・呼び出し、停止）ボタン、ランプ ……………………………………⓮ ⓲
㉚ ストロボイルミネーター ……………………………⓱
㉛ PUSH（プラッター駆動フリー設定）ボタン ……⓮
㉜ FREE WHEEL（プラッター駆動フリー）表示 …⓮
㉝ 表示部（ディスプレイ） ……………………………⓯
㉞ • REMAIN —AUTO CUE（残り時間表示、自動頭出し設定）ボタン ……………………………⓬ ⓯
㉟ REALTIME REC（キューポイント、パッド記憶）ボタン ……………………………………⓲ ⓳ ⓴
㊱ 1～4 CUE PADS（頭出し記憶、再生、消去）ボタン、ランプ ……………………………………⓳

本体前面

㊲ ⏏CD EJECT（取り出し）ボタン ………………⓫
㊳ CDスロット（挿入口）……………………………⓫
㊴ パワーランプ ………………………………………⓫
㊵ SD CARDスロット（挿入口） ……………………⓫

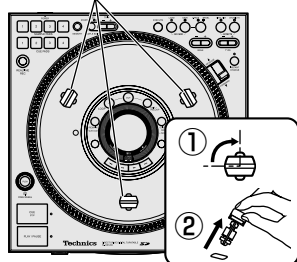
本体後面

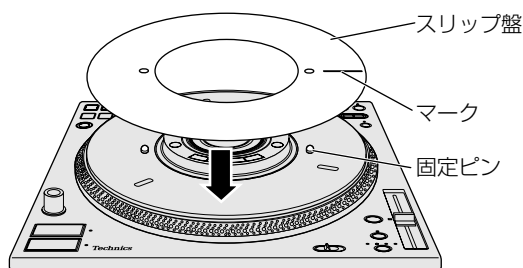
㊶ PHONES（ヘッドホン）端子 ……………………❾
㊷ VOLUME（ヘッドホン音量調節）つまみ ………⓬
㊸ LINE OUT（出力）端子 …………………………❾
㊹ DIGITAL OUT（出力）端子 ………………………❿
㊺ CONTROL（デジタルターンテーブルコントロール）端子 ……………………………………………❾
㊻ MODE（ターンテーブル、CDプレーヤー切換）つまみ ⓭
㊼ BRAKE（プラッターブレーキ調節）つまみ ……⓮
㊽ AC IN～（電源入力）端子 ………………………❾
㊾ POWER（電源）▀ OFF ▄ ONボタン …………⓫

プラッター準備／設置／部品、付属品

プラッター準備

本機は輸送時のショックから保護するためにプラッターを固定しています。

1. プラッターに取り付けられたプラッターロックレバーを3本取り外す

① プラッターロックレバーを約90゜回す
② プラッターロックレバーを抜く
- プラッターロックレバーをプラッターの穴に合わせると抜けます。

2. 同梱品のスリップ盤を取り付ける

- スリップ盤のマーク側を上にして、固定ピン（2本）にはめ込む。

取り外したプラッターロックレバー（3本）は、保管しておいてください。

■ プラッターのブレーキを調節する

プラッターのブレーキスピードは本機後面のBRAKEつまみで調節できます。接続の後、好みのブレーキスピードに調節してください。（➪14ページ）

■ 本機を輸送するときは

必ず、プラッターロックレバー（3本）を取り付けてください。

1. スリップ盤を取り外す
   - 折れ曲がらないように包装してください。
2. プラッターロックレバーを3本取り付ける
   ① 上記取り外し手順1の図の位置でプラッターの穴と中のシャーシの穴を合わせる
   ② プラッターロックレバーをプラッターの穴に差し込む
   - プラッターを動かしてレバーを完全に差し込む
   ③ プラッターロックレバーを約90゜回して、ロックする

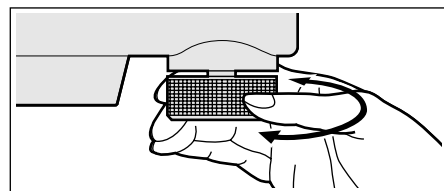
設置

外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。

お願い

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近くで長時間使用しないでください。ディスクや本体に悪い影響を与えます。
- 放熱効果を得るために、本体の周辺に空間を設けてください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れを生じることがあります。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- プレイする状態ではパネルやステレオピンコード、電源コードなどが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。

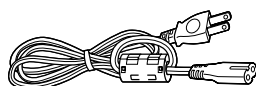
■本体の高さを調節する

ご使用になる場所に設置した後、本体が水平になるようにインシュレーターを調整してください。

■ディスプレイの表示方向を変える

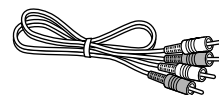
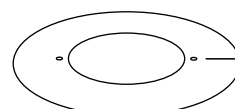
本体の設置方向に対応して、ディスプレイの表示方向を変えることができます。（➪15ページ）

部品、付属品

まず最初に部品、付属品を確かめてください。
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番を表します。

□ 電源コード................1 本
（品番：REZ1618）

お願い

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。
他の機器の電源コードは、本機では使用しないでください。

□ ステレオピンコード 1 本
（品番：SFDHBD2N01）

□ スリップ盤................1 個
（品番：RGK1704-S2）

接続

DJミキサーへの接続

別売りのDJミキサーSH-MZ1200へ本機を2台接続する例です。
ステレオピンコード（付属）、ミニコード（別売り）で本機とDJミキサーを接続します。
接続時には必ず各機器の電源を切ってください。
電源コードの接続は、すべての接続が終わった後に行ってください。

ステレオピンコードの接続は

本機後面のCONTROL端子への接続は
本機または別売りのDJミキサーに限り動作ができます。
他社製品のCONTROL端子と接続した場合、正常に動作しない、または機器が故障することがあります。

本機後面 **ダイレクトドライブ デジタルターンテーブル 2**
DJミキサーのCH4へ接続します。

本機後面 **ダイレクトドライブ デジタルターンテーブル 1**
DJミキサーのCH1へ接続します。

PHONES — VOLUME MAX MIN
LINE OUT R L
DIGITAL OUT
CONTROL
MODE TURN TABLE CD PLAYER
BRAKE S F
AC IN～

タイプ：
ステレオ大型
（M6）

ヘッドホン
（別売り）

電源コード
（付属）

電源コンセント
（AC100 V
50/60 Hz）

ミニコード（別売り）
タイプ：
ステレオミニ（M3）

フェーダースタート
プレイ（⇨24ページ）
時接続します。

DJミキサー後面

POWER OFF ON
CH4 PHONO3 CD / LINE
CH3 PHONO2 LINE
CH2 PHONO1 LINE
CH1 LINE CD / LINE
MIC MIC2 MIC1
EFFECT RETURN R MONO L
PHONO EARTH
MASTER OUT 1
MASTER OUT 2 MASTER OUT 1 MONITOR OUT REC OUT
DIGITAL IN
DIGITAL OUT
PLAYER CONTROL CH4 CH1
EFFECT SEND R MONO L
AC IN
①GND ②COLD ③HOT
(REAR) (FRONT)
CH4 CH1

■他のミキサーと接続するときは

PHONO端子には接続しないでください。大きな音量になり、機器が破損する場合があります。
本機のLINE OUT端子とミキサーのLINE入力端子またはAUX入力端子を接続します。

■ヘッドホンで聞くときは

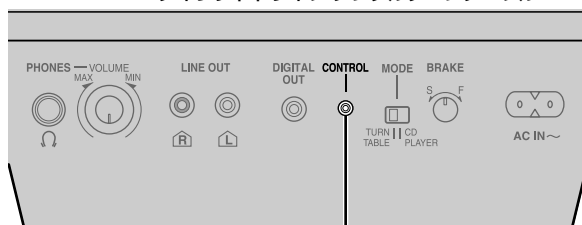
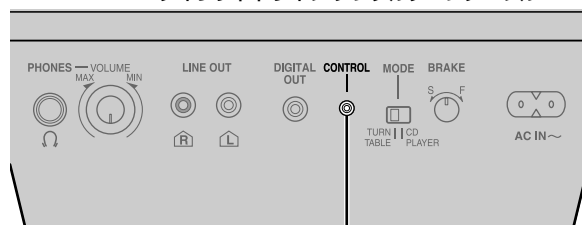
- VOLUMEつまみで、必ず音量を絞ってから接続してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

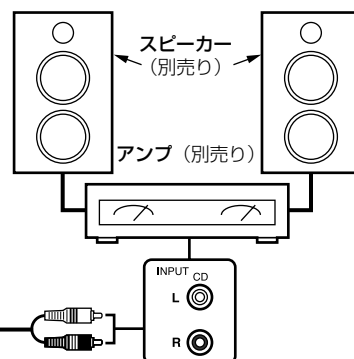
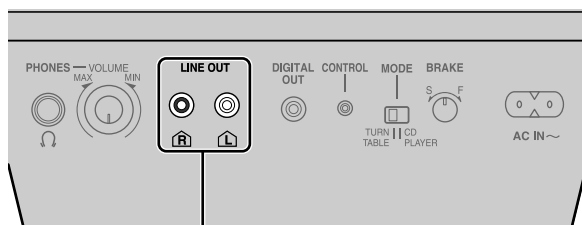
お知らせ

関連する別売り品の一部は29ページの「別売り品のご紹介」をご参照ください。

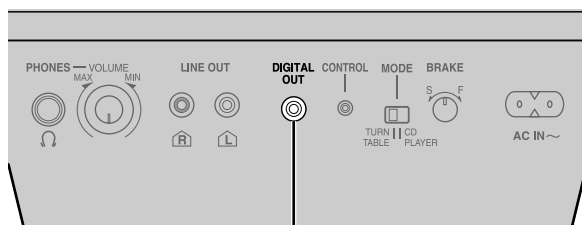
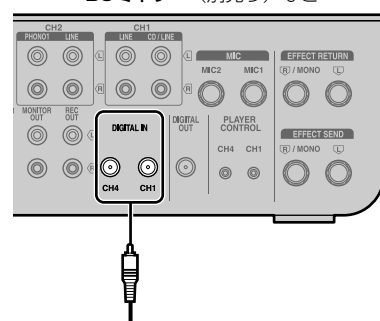
接続

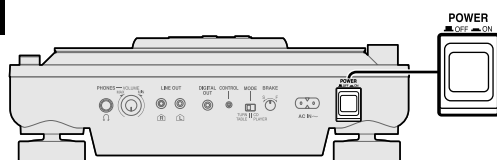
リレープレイをする場合のコントロール端子の接続

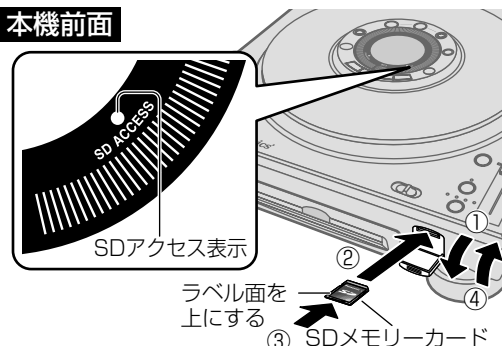
リレープレイ（⇨24ページ）をする場合、本機2台のコントロール端子どうしを接続します。

ステレオアンプとの接続（DJミキサーを使わない場合）

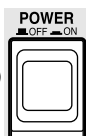
PHONO端子には接続しないでください。大きな音量になり、機器が破損する場合があります。
アンプのCDまたはAUX入力端子と接続します。

デジタル入力端子付き機器との接続

ピンコード（別売り）でデジタル入力端子付きDJミキサーやアンプなどのデジタル入力端子と接続します。
- 本機のDIGITAL OUT端子からはSDオーディオは出力されません。

本機後面

DJミキサー（別売り）など

ピンコード（別売り）
タイプ：RCA同軸

ディスク、SDメモリーカードの入れ方・出し方

本機後面

本機前面

ディスクの入れ方

① 後面の を押す

電源が入ります。ディスプレイが表示され、パワーランプが点灯します。

② ディスクを入れる

- ディスクはラベル面を上にして、前面のCDスロットに水平に入れてください。ディスクが自動的に引き込まれます。
- **8 cmCDは使用できません。**

お願い

- 電源が入っていないときは、ディスクを入れないでください。
- 2枚以上のディスクを入れないでください。
- ディスクを入れるとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

ディスクの出し方

停止または一時停止中に

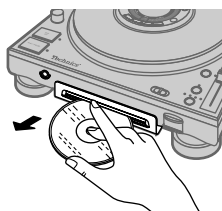
①   を押す

- ボタンを押すとディスク挿入口からディスクが出てきます。
- TURNTABLEモードでは演奏中に押すと、ディスプレイにメッセージが出て演奏が継続されます。必ず演奏を一時停止後押してください。
- ディスクを取り出さずに10秒以上放置すると、自動的に引き込まれます。

取り出すときは

② もう一度押す

- 再生面に触れずに、図のように取り出します。

本機前面

SDメモリーカードの入れ方

① SDカードスロット部フタを開ける
② SDメモリーカードのラベル面を上にして、コーナーをカットした側から差し込む
③ ロックするまで差し込む
④ フタを閉める

SDメモリーカードの出し方

SDアクセス表示が点滅していないことを確認し、フタを開けてSDメモリーカードを押してロックを外し、戻ってきたカードをていねいに引き抜いてフタを閉める

- SDメモリーカードにアクセス中は、SDアクセス表示が点滅します。点滅表示中にフタを開けてカードを取り出したり、電源を切らないでください（記録データが壊れる恐れがあります）。

お願い

- SDカードスロット部フタは必ず閉めてください。
開いたままで操作するとディスプレイに"NO SD CARD"または"SD LID OPEN"と表示され、動作しません。
- 本機では8 MB～1 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。（⇨26ページ）

	演奏できるメディア	参照ページ
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	26
	CD-DAフォーマットでファイナライズされたCD-R、CD-RW	12, 23
	MP3ファイル（WMAフォーマットには対応していません）	
SDメモリーカード（SDオーディオ）	セキュアAAC	23
	セキュアMP3（WMAフォーマットには対応していません）	

ディスクの強制排出

ディスクが［▲CD EJECT］を押しても取り出せないときに、強制的に排出させることができます。

① ［POWER ▬OFF ▬ON］を押して電源を切る
② ［▲CD EJECT］を押しながら、再度［POWER ▬OFF ▬ON］を押して電源を入れ、ディスプレイに"DZ1200"と表示されたら［▲CD EJECT］を離す

CDまたはSDメモリーカードを演奏する（基本の演奏）

本機後面

ヘッドホン使用時音量を調節する

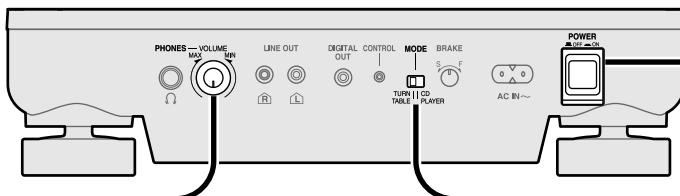
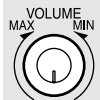
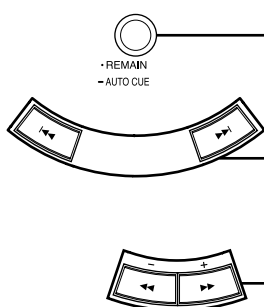
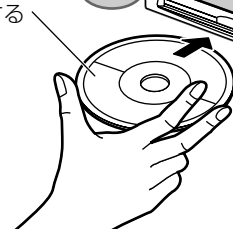
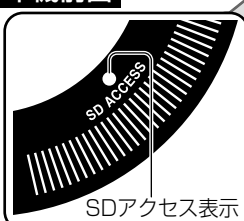
VOLUME MAX MIN を回す

本機前面

ラベル面を上にする

CD EJECT

本機前面

SDアクセス表示

ラベル面を上にする

SDメモリーカード

オートキュー機能（TURNTABLEモードのみ）

メディアをセットしたときとトラックスキップのとき、および再生中に次の曲に移ったときに曲頭の無音部分をとばして音声が始まる直前でオートキューポイントを自動的に設定し、一時停止します。

お買い上げ時、オートキューは切に設定されています。

オートキューを入にするには

AUTO CUE表示

オートキューポイント設定表示

・REMAIN ‐AUTO CUE **を2秒以上押す**

- ディスプレイ表示の“AUTO CUE”が“AUTO CUE”に変わります。
- 長押しするたびに
  AUTO CUE（オートキュー入）⇄ AUTO CUE（オートキュー切）
- 無音部分をとばす区間は、曲頭から最大15秒までです。
- 電源を切っても入、切状態は記憶されます。さらに、設定したメディアを入れるとメディアごとの設定状態が復帰します。

CD-RとCD-RWの再生について

CD-DAフォーマットで記録されたCD-RとCD-RW再生に対応しています。

CD-DAフォーマットの場合は音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。

MP3ファイルの入ったCD-R、CD-RWも再生できます。

ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるように処理すること。

1 を押す

- 電源が入り、ディスプレイが表示されます。

2 をTURNTABLE側にする

- CDプレーヤーモードのときは機能が制限されます。（⇨14ページ）

3 を切り換えて演奏するメディアを選ぶ

- メディアが入っていないと、ディスプレイに“NO DISC”または“NO SD CARD”と表示されます。
- メディアが入っているとテンポ調節やプラッター操作が有効になります。

4 ディスクまたはSDメモリーカードを入れる（⇨11ページ）

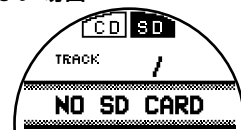
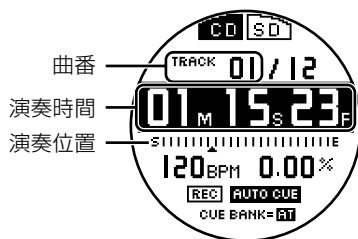
- SDカードスロット部フタは必ず閉めてください。開いていると動作しません。
- ディスクのローディングにしばらく時間を要します。
- オートキューが入のとき 1曲目のオートキューポイントで一時停止状態となります。設定を読み出し中はキューランプが点滅し、その後点灯します。
  オートキューが切のとき 1曲目の先頭で一時停止状態となります。
- プレイ／ポーズランプが点滅します。

5 を押す

オートキューが入のとき
- プラッターが回転し、プラッターと同期して1曲目の演奏が始まります。
- プレイ／ポーズランプ、キューランプが点灯します。
- 1曲目の演奏が終了すると、2曲目のオートキューポイントで一時停止状態となります。このときプラッターは停止します。

オートキューが切のとき
- プラッターが回転し、プラッターと同期して1曲目の演奏が始まり、プレイ／ポーズランプが点灯します。
- 最終曲まで演奏すると1曲目に戻って演奏を続けます。**（全曲リピート）**

ディスクが入っていない場合

SDメモリーカードが入っていない場合

CD演奏中

● 一時停止する

 を押す（再開するには、もう一度押す）

- プレイ／ポーズランプが点滅し、プラッターが停止します。

● 曲を前後にとび越す（スキップ）

 を押す

- ボタンを押すたびに、または押している間スキップします。
- オートキューが入のときは選択曲の曲が始まる直前のオートキューポイントへスキップします。

● 早送り・早戻しする（サーチ）

演奏中または一時停止中に

を押し続ける

- ボタンを押している間、サーチします。
- CD-R、CD-RWのMP3ファイルの場合、曲を越えたサーチはできません。
- MP3ファイルとSDオーディオのサーチ音は途切れた音になります。

● メディアを入れても認識されない場合のディスプレイ表示について

正しく入れ直してください。

NO CD AUDIO TRACK：演奏できるCD（⇨26ページ）以外のディスク。または裏返し挿入。
NO SD AUDIO TRACK：故障など認識できないSDメモリーカード。または曲データがない。

● MP3アルバム、SDオーディオの曲を選択する

CD-R、CD-RWのMP3アルバムまたはSDメモリーカードに記録されているSDオーディオの曲を選択します。
（⇨「MP3アルバムとSDオーディオについて」23ページ）

① を使用するメディアに切り換える

② を押して、曲を選ぶ

- CD-R、CD-RWのMP3アルバムは、アルバム番号がディスプレイに表示されます。
- 演奏すると、選択した曲の記憶されている曲名などがディスプレイに表示されます。（半角英数32文字まで）
- SDメモリーカードのSDオーディオの場合、デフォルトプレイリストからのみ曲の選択、再生ができます。

● CDを取り出す

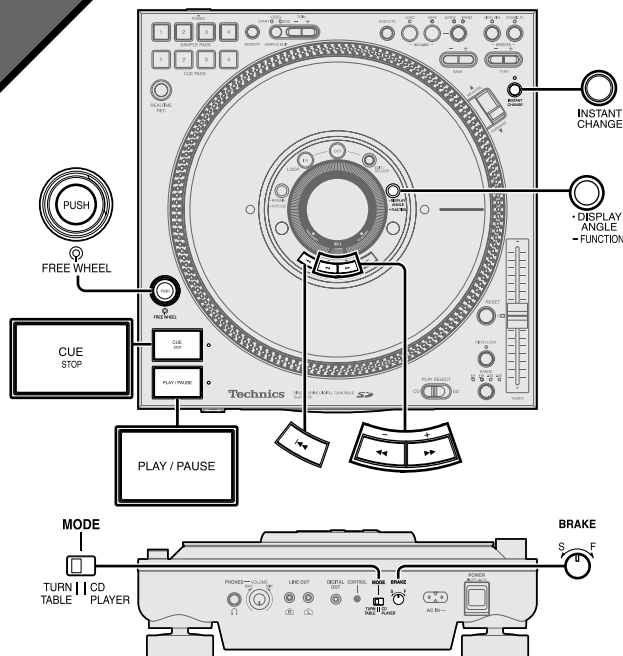
一時停止中に

 を押す

- ディスプレイに排出表示がされてディスクが出ます。
- 演奏中に押すと、CDは排出されず、ディスプレイにメッセージが表示され、演奏が継続されます。

● SDメモリーカードを取り出す（⇨11ページ）

- 演奏が終了してから取り出してください。
- SDメモリーカードにアクセス中は、SDアクセス表示が点滅します。点滅表示中にSDカードスロット部フタを開けてカードを出したり、電源を切らないでください（記録データが壊れる恐れがあります）。

基本機能を設定する

ターンテーブルモード、CDプレーヤーモードを選択する

本機はターンテーブルモードまたはCDプレーヤーモードのいずれかを選択して、使用することができます。

本機後面の **を切り換える**

■TURNTABLE:

DJプレイするためのモードで、全ての機能が動作できます。

- 本機で設定したパネルデータ（⇨19ページ）は本機に記憶されます。
- CD-R、CD-RWのMP3ファイルのとき総曲数、総アルバム数は表示されません。CDプレーヤーモードに切り換えて確認してください。

■CD PLAYER:

オーディオプレーヤーとして最適な状態で再生するためのモード。次の制限される機能を除き、DJプレイの機能が使用できます。

制限される機能

- パネルデータの自動記憶、読み出しはされません。
- プラッターは回転しません。プラッター上のスリップ面操作はできません。
- オートキュー、キューバンク機能は働きません。
- インスタントチェンジ機能は働きません。

切換直後の自動設定内容

- リセットランプが点灯し、通常演奏速度になります。
- ダイナミックエフェクトなどのDJプレイの機能→切

基本の演奏（⇨12〜13ページ）**動作が変わります**

- 手順2では、CD PLAYER側にします。
- 手順5では、[PLAY/PAUSE] を押すと、1曲目の演奏が始まり、最終曲まで演奏するとプレイ／ポーズランプが消灯し停止します。

  停止時のディスプレイ表示

  CD、SDオーディオのとき：総演奏時間

  CD-R、CD-RWのMP3ファイルのとき：総曲数、総アルバム数

総演奏時間（時間、分、秒）

総曲数　総アルバム数

- 演奏するには [PLAY/PAUSE] を押す
- 演奏を止めるには [CUE STOP] を押す
- CDを取り出す 演奏中にCDイジェクトボタンを押しても取り出せます。

即時演奏（インスタントチェンジ）するには

TURNTABLEモードのときインスタントチェンジが切の状態ではプラッターの立ち上がり、立ち下がり回転と同期して演奏、一時停止します。

インスタントチェンジを入にすれば、通常のCDプレーヤーのように [PLAY/PAUSE] を押すと、即時演奏、一時停止します。デジタルターンテーブルならではの機能です。

 を押す

- インスタントチェンジランプが点灯します。

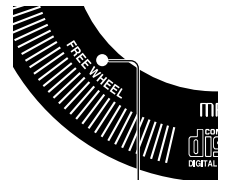
- 再度 [INSTANT CHANGE] を押すと解除されます。
- インスタントチェンジ入、切はメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

フリーホイール状態にするには

TURNTABLEモードのとき

 を押す

フリーホイール表示

- プラッターは駆動がなくなります。再生しているときは、ゆるやかに停止し、プラッターの回転と同期した再生音になります。
- ストロボイルミネーターが消灯し、ディスプレイのフリーホイール表示が点滅します。
- 再度 [PUSH] を押すと解除され、元の状態に戻ります。
- 電源を切ると設定は消滅します。

プラッターのブレーキを調整する

TURNTABLEモードのとき再生中に [PLAY/PAUSE] を押して、プラッターが一時停止するまでのブレーキスピードを調節します。

本機後面の **を回す**

S（スロー）方向　：ゆるやかに停止
F（ファースト）方向：急激に停止

オートキューレベルを調整する

オートキュー（⇨12ページ）が入のとき、曲によっては音声が始まる直前でオートキューポイントが設定されないことがあります。このようなときはオートキューレベルを調節します。

① **ディスプレイの表示が変わるまで**

・DISPLAY ANGLE −FUNCTION **を（2秒以上）押す**

② **を押して、ディスプレイ表示の“AUTO CUE LEVEL”を選ぶ**

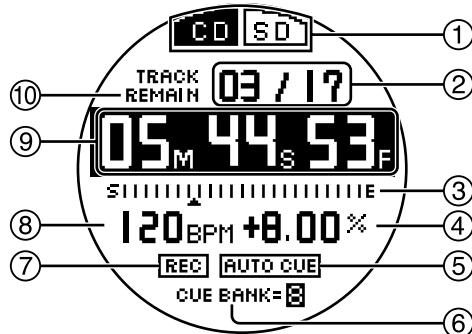
- ディスプレイ表示に“LEVEL−60dB”（初期状態の場合）と表示されます。

③ **を押してレベルを選ぶ**

- −36 dB、−42 dB、−48 dB、−54 dB、−60 dB、−66 dB、−72 dB、−78 dBから選べます。
- 設定レベルより小さい音は無音部分としてとばします。

④ ・DISPLAY ANGLE −FUNCTION **を押す**

- [・DISPLAY ANGLE −FUNCTION] を押さないで5秒間以上放置した場合でも設定されます。
- 設定したオートキューレベルはメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

ディスプレイ表示について

■残り時間表示をする

CD、SDメモリーカードを演奏中に

を押す

- “REMAIN”が表示され、演奏曲の残り時間表示になります。
- 再度押すと元の時間表示に戻ります。
- CD-R、CD-RWのMP3ファイルを演奏しているときは、［•REMAIN —AUTO CUE］を押しても残り時間表示されません。
- 残り時間が30秒を切ると、時間表示が点滅してお知らせします。CD-R、CD-RWのMP3ファイルのときは、残り時間が約7秒を切ると点滅表示します。ただし、操作状態によっては点滅表示できない場合があります。

■表示方向を切り換える

本体の設置方向に対応してディスプレイ表示の方向が回転できます。

を押して、ディスプレイの表示方向を選ぶ

- 押すたびに時計方向に90°回転します。
- 電源を切っても記憶されます。

■表示の濃さを調節する

① ディスプレイ表示が変わるまで

・DISPLAY ANGLE —FUNCTION を（2秒以上）押す

- ディスプレイ表示の“CONTRAST”が選ばれています。

② を押して、ディスプレイの濃さを調節する

- ［－ ◀◀］、［＋ ▶▶］を押して、適切な濃さを選んでください。（調整範囲：1～100）
- ボタン操作が5秒以上ないときは、元の時間表示に戻ります。
- 電源を切っても記憶されます。

CD、SDオーディオのとき

CD-R、CD-RWのMP3ファイルのとき

①再生メディア選択表示

CD ：CDが選択されている表示

SD ：SDが選択されている表示

②曲番表示

CD、SDオーディオのとき： 総曲数と演奏曲を表示
CD-R、CD-RWのMP3ファイルのとき：
アルバム内の総曲数と演奏曲を表示

③曲の演奏位置表示

④演奏速度変化率表示

⑤オートキュー表示

AUTO CUE ：オートキュー動作表示

⑥キューバンク表示

⑦REALTIME REC表示

REC ：サンプルパッドのREALTIME REC動作表示

⑧BPM（ビートパーミニッツ）表示

1分間の拍数で、曲の速さを表示
音楽によっては検出できないもの、検出に時間のかかるものがあります。

⑨演奏時間（分、秒、フレーム）、
残り時間（CD、SDオーディオ）表示

⑩REMAIN（残り時間）表示

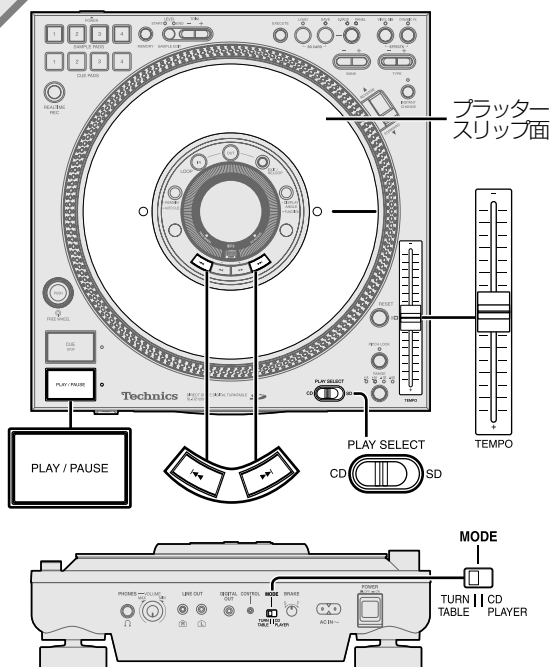
CD、SDオーディオのときのみ表示

⑪MP3アルバム番号表示

MP3ファイルのとき表示

⑫CD-MP3（CD-R、CD-RWのMP3ファイル）表示

プラッター操作をする

準備

- ［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える
- 後面の［MODE］をTURNTABLEにする
- 使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

演奏状態を手で変化させる

インスタントチェンジが切のときは、本機の演奏はプラッターの回転と同期して行われます。プラッター上のスリップ面の動きによっても演奏速度が変化します。

■即時プレイする

インスタントチェンジが切のとき

① スリップ面を止めたままで を押す

② 演奏のタイミングで弾くようにスリップ面を回す

インスタントチェンジが入のとき

 を押す

- 再生を開始してから数秒間はインスタントチェンジランプが点滅し、プラッター上のスリップ面を操作しても演奏速度、再生音は変わりません。

- キューパッドを使っても即時プレイできます。（⇨ 19ページ）

■即時ストップする

インスタントチェンジが切のとき

演奏中にスリップ面を押さえて止め、 を押す

インスタントチェンジが入のとき

演奏中に を押す

■スリップ面の動きを手で変化させる

演奏中にスリップ面を手で早く回し加速、または押さえて減速する

- スリップ面の回転を加速または減速した分、演奏速度が変化します。
- ディスクを入れたローディング直後やオートキュー動作直後では、ディスプレイの時間表示が点滅し、スリップ面を操作しても再生音は変わりません。
- ［ ⏮ ］、［ ⏭ ］を押して曲をスキップした直後にスリップ面を操作しても、音が出ないことがあります。

- 1曲目から最終曲への逆戻しスリップ面操作はできません。
- CD-R、CD-RWのMP3ファイルの場合は前の曲への逆戻しスリップ面操作はできません。
- ［TEMPO］を動かしても演奏速度を変えることができます。（⇨ 17ページ）

DJの基本演奏

プラッター上のスリップ面の動きを手で変化させることにより、スリップ面の回転速度と回転方向に応じた演奏ができます。

■ブレーキをする

再生中にスリップ面を押さえて止める

- スリップ面の回転に応じた速度で再生音が止まります。
- その後、スリップ面から手を離すと、スリップ面の回転に応じた速度で再生音が立ち上がります。

■スピンをする

再生中に強制的にスリップ面を早く回す

- スリップ面の回転速度に応じたスピードで再生されます。

- スリップ面の回転を上げすぎると、音と時間表示が追従しなくなります。

■スクラッチプレイをする

① **再生中にスリップ面を押さえて止める**
- 再生が停止します。

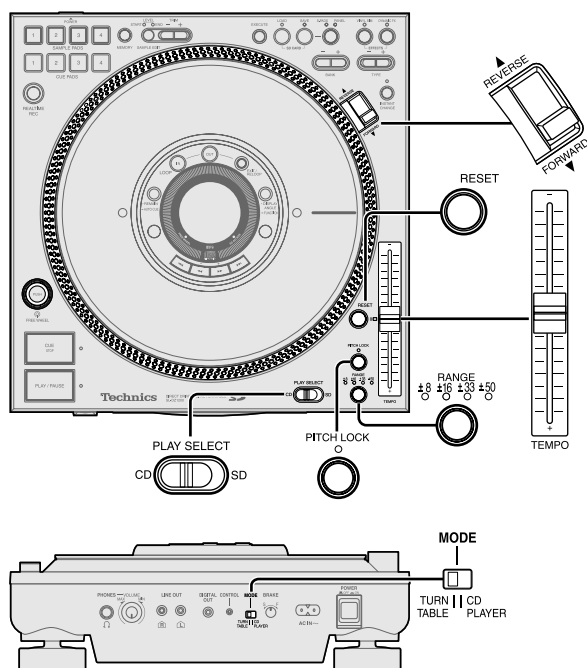
② **スリップ面を再生したい方向と速さで回す**
- スリップ面の回転速度と回転方向に応じたスピードと方向で再生されます。

③ **スリップ面から手を離す**
- 再生が加・減速されて元の状態に戻ります。

- ピッチロック（⇨ 17ページ）が入のときは、スリップ面を手で変化させても音程は変わりません。

お知らせ

- 本機はどのような状態からでも直ちに演奏ができるように、常にCDを回転させています。このため回転音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- ［PLAY SELECT］を再生中や一時停止中に切り換えると再生が即時停止し、ディスプレイに"PLEASE WAIT !"メッセージが表示され、CDまたはSDメモリーカードを入れ直した状態となります。
- メディアを入れたローディング直後やスキップ、サーチ、オートキュー動作直後の準備中は、ディスプレイの時間表示が点滅し、［PLAY/PAUSE］を押しても受け付けません。

演奏速度、再生方向を変える

準備
- ［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える
- 後面の［MODE］をTURNTABLEにする
- 使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

演奏速度（テンポ）を変える

演奏速度を変えることができます。

1 リセットランプが点灯している場合、RESET **を押して、リセットランプを消す**

2 RANGE ±8 ±16 ±33 ±50 **を押して、演奏速度可変レンジを選ぶ**

押すたびに　±8%→±16%→±33%→±50%

- CD-R、CD-RWのMP3ファイルまたはSDオーディオを演奏しているときは、±8%と±16%のレンジのみが選択できます。
- レンジの数字が大きくなると、［TEMPO］を動かしたときの速度変化が大きくなります。
- 選んだレンジの演奏速度可変レンジランプが点灯します。

3 **演奏中、［TEMPO］を動かして、調節する**
- パネル表示の目盛を目安として調節してください。
- 演奏速度、音程ともに変わります。
- 電源を切るとレンジは±8%に戻ります。

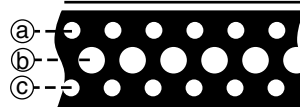
● 演奏速度をリセットする

を押す

- リセットランプが点灯し、演奏しているときは瞬時に通常演奏速度に戻ります。
- 電源を切ると演奏速度のリセットは切に戻ります。

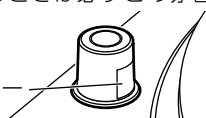
● 演奏速度を確認する

- ディスプレイに演奏速度変化率が表示されます。

- プラッターの円周に刻まれた3列のストロボ縞目でも演奏速度が確認できます。

ⓐが停止して見えるとき　約＋3.5%の演奏速度変化
ⓑが停止して見えるとき　通常演奏速度
ⓒが停止して見えるとき　約－3.5%の演奏速度変化

お願い

本機のストロボ縞目の照明には、クォーツの正確な周波数と同期したストロボイルミネーター（赤色LED照明）を使用しています。演奏速度を確認するときは必ずこの赤色LEDの照明をもとに行ってください。

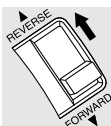
ストロボイルミネーター

ピッチロックする

音程を変えずに演奏速度を変えることができます。

PITCH LOCK **を押す**

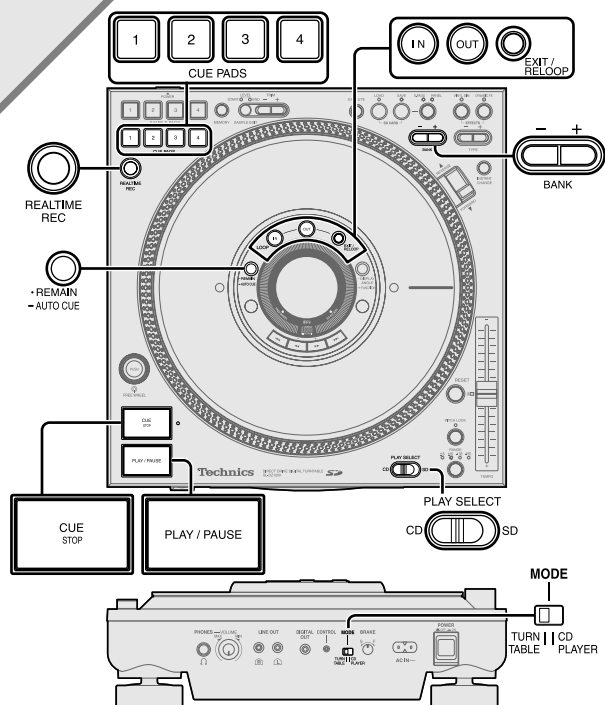
- ピッチロックランプが点灯します。
- 音声をデジタル加工するため、音質が変化します。
- 演奏速度変化率が大きくなると、デジタルノイズが発生することがあります。
- ピッチロックを入にしてプラッター上のスリップ面を操作すると、元の音程を保ったままスリップ面の操作に応じた再生ができます。
- 電源を切るとピッチロックは切に戻ります。

リバース演奏する（プラッター逆回転）

演奏曲を逆再生（リバース）することができます。

をREVERSE側に切り換える

- プラッターの回転が逆回転し、リバース演奏します。
- プラッターと同期するため、定速演奏するまでにしばらく時間がかかります。即時変化させたいときはインスタントチェンジをご使用ください。
- スリップ面を手で加・減速させる方向も逆になります。

- 1曲目から最終曲へはリバース演奏はできません。
- CD-R、CD-RWのMP3ファイルの場合は、曲を越えてリバース演奏はできません。
- リバース演奏時、キューパッド再生や15秒以上のループ演奏（⇨ 19ページ）は、演奏の開始が遅れることがあります。

記憶させて演奏する

準備	・［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える ・後面の［MODE］をTURNTABLEにする ・使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

オートキューポイントを設定する

設定したい曲の音声が始まる直前で、自動的にオートキューポイントを設定し、一時停止できます。

1 <u>オートキューが切のとき</u>

ディスプレイ表示が“AUTO CUE”に変わるまで

を2秒以上押す

2 トラックスキップまたは再生を行って、設定したい曲の先頭に移動する

- 曲の音声が始まる直前で一時停止し、キューランプが点灯してオートキューポイントが設定されます。
- ディスプレイのキューバンク表示に“AT”と表示されます。

- 設定ポイントに戻った後プラッターに同期して、再生ポイントが移動します。プラッターを手で戻した場合やブレーキの設定などによって前の曲に移動した場合、［PLAY/PAUSE］を押して演奏すると、再びオートキューポイントで止まります。
- 設定直後数秒間はキューランプが点滅し、スリップ面操作ができないことがあります。
- 再度設定すると、以前のオートキューポイントは消滅します。

■ オートキューポイントをキューバンクに記憶させせる

① **オートキューポイントを設定する**（⇨上記）

- キューバンク番号表示に“AT”と表示されます。

② **右記「任意の位置でキューポイントを設定する」手順1、2、4を行う**

- 選んだキューバンク番号が反転表示され、記憶されます。
- キューバンクを選ばないと、ディスプレイに“CUE BANK ERROR”メッセージが表示されます。キューバンクを選んで再度設定してください。

任意の位置でキューポイントを設定する

キューポイントは曲の任意のポイントで設定することができ、簡単に好みのキューポイントが呼び出せます。
キューポイントは、CD1枚またはSDメモリーカード1枚あたり10ポイントまでキューバンクに記憶させることができます。

1 （－ ＋ BANK）を押して、キューバンクを選ぶ

- ディスプレイのキューバンク（1～10）は記憶されているとキューバンク番号が反転表示されます。

（例）記憶された状態

2 演奏中または一時停止中に

を押す

- SAMPLE PADS、CUE PADSの1～4のパッドランプとキューランプの全てが点滅します。
- 再度［REALTIME REC］を押すと解除されます。

3 スリップ面を回して、演奏を開始したい音声の直前まで戻す

- 聞こえているポイントで設定すると、直後がキューポイントになります。
- スリップ面は確実に止めてください。

4 （CUE STOP）を押す

- キューランプが点灯し、選んだキューバンク番号が反転表示され、記憶されます。
- 反転表示されたキューバンク番号を選んだときは上書きされます。

5 上記手順をくり返し、好みのキューポイントを記憶する

- キューバンクはメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

記憶ポイントから演奏する

準備
- **オートキューポイントを使う場合**
  キューバンク番号表示に“AT”と表示されていない場合
  オートキューポイントを設定する（⇨左記）
- **キューポイントを使う場合**

を押して、目的のキューバンクを選ぶ

- ディスプレイの番号が反転表示されたキューバンクを選んでください。
- ［－＋BANK］を押して、“AT”を選ぶことはできません。

■オートキューポイントまたはキューポイントに戻る（バックキュー）

<u>インスタントチェンジが切のとき</u>

演奏中または一時停止中にスリップ面を止めて、

を押す

- 設定したポイントに戻り、プレイ／ポーズランプが点滅して、一時停止します。
- バックキュー直後数秒間はスリップ面操作できません。
- 演奏中にスリップ面を止めずに［CUE STOP］を押すと、設定ポイントに戻った後プラッターに同期して再生ポイントが移動します。

<u>インスタントチェンジが入のとき</u>

演奏中または一時停止中に［CUE STOP］を押す

- 演奏中にスリップ面を止めなくても設定ポイントに戻ります。
- 直後のスリップ面操作はインスタントチェンジランプが点滅し数秒後に音が出ます。

■バックキューから演奏する

● バックキューを行った後、 を押す

- 設定ポイントから演奏します。

■キューポイントを修正する

① バックキューを行う
② 再度、18ページ「任意の位置でキューポイントを設定する」手順2～4を行う

- 新しいキューポイントが記憶されます。

キューパッドに記憶させて演奏する

あらかじめキューポイントをキューパッドにメモリーしておくと、メディアを入れておけばパッドを押すだけで直ちにそのポイントから演奏できます。

■リアルタイムでキューパッドにメモリーする

① 演奏中または一時停止中に を押す

- SAMPLE PADS、CUE PADSの1～4のパッドランプとキューランプの全てが点滅します。
- 再度［REALTIME REC］を押すと解除されます。

② 設定したいポイントで

CUE PADS 1 ～ 4 のいずれかを押す

- 押したプレイポイントがメモリーされます。前のデータがあるときは消滅します。
- 押したキューパッドランプが点灯します。

- キューパッドのメモリーはメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

■キューパッドを再生する

点灯しているCUE PADS 1 ～ 4 の1つを押す

- メディアを演奏していてもCUE PADSのメモリーされたポイントから切り換わって直ちに再生します。TURNTABLEモードでは一時停止のときはプラッターが回転し再生します。
- CUE PADSを再生中に同じパッドを押すと、再度メモリーされたポイントから再生します。
- CUE PADSを再生中に他のパッドを押すと、切り換わって再生されます。

■キューパッド再生を止める

 を押す

- プレイ／ポーズランプが点滅して一時停止します。

好みのポイントを記憶させて演奏する（ループ演奏）

好みの2つのポイントを設定して、その間のループ演奏をすることができます。

■ループを作る

① 演奏中にLOOP（IN）を押す

- ループインランプが点灯します。
- 再度LOOP［IN］を押すと、再設定されます。
- LOOP［IN］を押した後、［EXIT/RELOOP］を押すと設定を解除できます。

<u>リアルタイムに設定する場合</u>
好みのポイントでLOOP［IN］を押す

<u>マニュアル設定する場合</u>
1. スリップ面を好みのポイントで止める
2. LOOP［IN］を押す

<u>キューポイントを転送設定する場合</u>
1. キューバンクを選んでバックキューする
2. LOOP［IN］を押す

② 演奏中にLOOP（OUT）を押す

上記の手順①と同様に設定する。

- ループインランプ、ループアウトランプが点滅し、ループインポイントからループアウトポイントの間でループ演奏を開始します。

- 曲を越えてループ設定およびループ演奏をするときは、あらかじめオートキューを切にしておいてください。
- 再度ループ設定をするときは、［EXIT/RELOOP］を押してループ演奏を解除後、上記手順で行います。
- ループ演奏中も、スリップ面、テンポ調節などのコントロールが有効になります。
- ループ演奏中にスキップやサーチボタンでループ範囲を外れた場合、ループ解除されます。
- ループポイントはメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

■ループを抜け出す（解除する）

ループ演奏中に（EXIT / RELOOP）を押す

- ループアウトポイントになってもループ演奏しないでそのまま演奏を継続します。
- ループインランプ、ループアウトランプは点灯に変わります。

■再度ループに戻る（リ・ループ）

ループ解除後、演奏中に（EXIT / RELOOP）を押す

- 前に設定したループインポイントに戻り、ループ演奏を再開します。

CD-R、CD-RWのMP3ファイル演奏のときは

- キューポイント、キューパッド、リ・ループで音楽の途中ポイントから演奏した場合、その設定ポイントより逆方向に演奏することはできません。

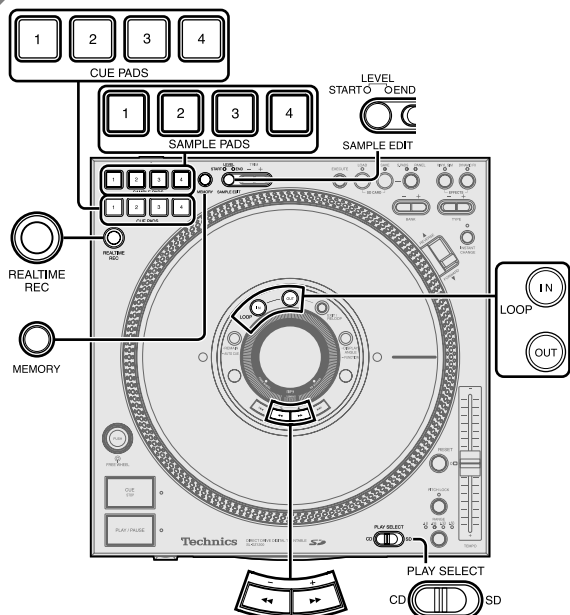
お知らせ

本機に記憶されるパネルデータ（TURNTABLEモードのみ）

- 本機で設定した次のパネルデータは、CDまたはSDメモリーカードの1枚ごとに記憶されます。CDまたはSDメモリーカードの50枚分まで記憶できます。
  - オートキュー入、切およびオートキューレベル
  - キューバンク
  - インスタントチェンジ
  - ループイン、アウト
  - キューパッド1～4
  - ダイナミックエフェクト
  - バイナルシミュレーター
- 本機のメモリーが50枚分を越えたとき、ディスプレイに置き換えメッセージが出て使用履歴が古い順に上書きされます。
- 設定したCDまたはSDメモリーカードの1枚ごとのパネルデータはSDメモリーカードにセーブできます。（➪「SDメモリーカードにセーブ（記録）する」22ページ）
- CDプレーヤーモードでは、パネルデータの自動記憶、読み出しはされません。

メディアを入れたときの自動読み出し（TURNTABLEモードのみ）

- 本機に記憶されているメディアを入れると、設定が自動読み出しされます。
  読み出し準備中は、記憶されているキューパッド1～4とキュー、ループイン、アウトの各ランプが高速点滅して順に準備されます。高速点滅中のキューパッドまたはキュー、ループ演奏ボタンを押すと、押されたパッドまたはボタンが最優先で準備され、演奏します。演奏の開始が遅れることがあります。
  読み出しが終わると高速点滅から点灯に変わります。
  CD-R、CD-RWのMP3ファイルおよびSDオーディオの場合は読み出しにCDオーディオより時間が長くかかります。高速点滅中のキューパッドまたはキュー、ループ演奏ボタンを押してランプが点灯に変わってからお使いください。
- 他の操作でも読み出し準備中は高速点滅することがあります。
- メディアを取り出したり、［PLAY SELECT］を切り換えると設定が消滅しますが、再度入れたときは設定が復帰します。

記憶させて演奏する

準備
- ［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える
- 使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

サンプルパッドに録音して再生する

演奏音をサンプルパッドに録音し、再生することができます。サンプルパッド1～4には合計で最大32秒録音できます。

■リアルタイムにサンプルパッドに録音する

① メディアを再生中に [REALTIME REC] を押す

- SAMPLE PADS、CUE PADSの1～4のパッドランプとキューランプの全てが点滅します。
- 再度［REALTIME REC］を押すと解除されます。

② 録音させたいSAMPLE PADS [1]～[4] のいずれかを押して、録音を開始する

- 押したサンプルパッドランプが点滅します。
- ディスプレイ表示の REC が REC 表示に変わります。
- 録音スタートでパッドに前のデータがあるときは消滅します。
- パッドの合計録音時間が32秒になると録音は自動終了します。

③ 録音終了ポイントで再度同じサンプルパッドを押す

- サンプルパッドランプが点灯に変わり、録音が終了します。
- ディスプレイ表示の REC が REC 表示に戻ります。

- 録音中も、スリップ面、テンポ調節などのコントロールが有効となります。
- サンプルパッドデータはエディットできます。（⇨21ページ）
- 録音したサンプルパッドデータは、電源を切ると消滅します。消滅を防ぐためにSDメモリーカードにセーブすることができます。
（⇨「SDメモリーカードにセーブ（記録）する」22ページ）

■サンプルパッドを再生する

点灯しているSAMPLE PADSの [1]～[4] を押す

- 押したパッドのランプが点滅し、再生を始めます。
- 再生中に、点灯している他のサンプルパッドの1つを押すと、重複再生ができ、ミックスした音が出ます。パッドは2つまで重複再生ができます。
- 最後まで演奏すると、ランプが点灯に変わり終了します。演奏の途中で再度パッドを押しても終了します。

- サンプルパッドのみの再生は、TURNTABLEモードでもプラッターは回転しません。
- メディアを演奏中にサンプルパッドを再生するとミックスした音が出ます。音声レベルによっては音が歪む場合があります。サンプルパッドのレベルは調節できます。（⇨「サンプルパッドをエディット（変更）する」21ページ）

■再生モードを選んで再生する

① [SAMPLE EDIT] を押して、"PLAY MODE SELECT"を選ぶ

- サンプルパッドに録音していないと動作しません。

押すたびに
START → END → LEVEL → PLAY MODE SELECT → EDIT WRITING OK?

START	：（データの開始点エディット）
END	：（データの終了点エディット）
LEVEL	：（音量エディット）
PLAY MODE SELECT	：再生モード
EDIT WRITING OK?	：（メモリーする、しないを選択）

② 録音したサンプルパッドの1つを押す

- 選択したサンプルパッドランプが点滅し、再生されます。

③ [– ◀◀ / + ▶▶] を押して、再生モードを選ぶ

- ディスプレイ表示の再生モードが押すたびに変わります。

ONE SHOT & REPLAY ⟷ ONE SHOT & STOP ⟷ LOOP

ONE SHOT & REPLAY：
先頭より再生し、最後まで再生すると終了。再生中に再度押されたとき、先頭より再生。

ONE SHOT & STOP：
先頭より再生し、最後まで再生すると終了。再生中に再度押されたとき停止。

LOOP：先頭より再生し、最後まで再生すると再び先頭に戻り再生を続ける。再度押されたとき停止。

- 上記手順②～③をくり返して他のパッドの設定ができます。

④ [MEMORY] を押す

- ディスプレイに"COMPLETED"が表示されて、再生モードが記憶されます。
- サンプルパッドランプが点灯に戻ります。

⑤ 同じパッドを押して、再生する

- 設定した再生モードで再生されます。

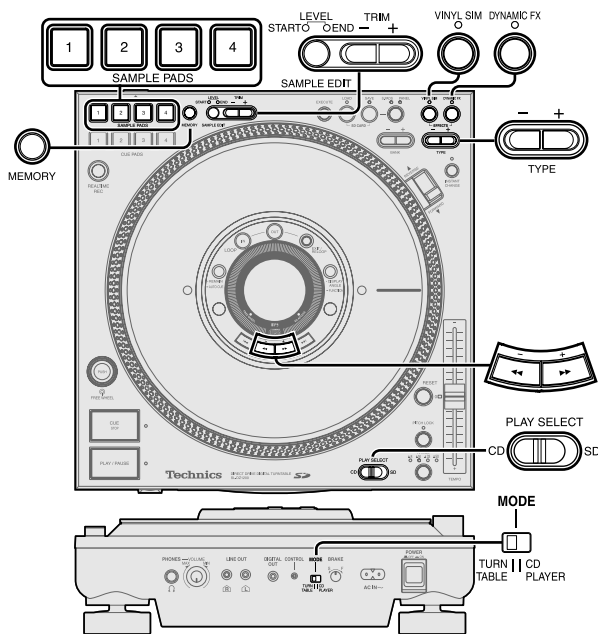
メモリーしない場合［SAMPLE EDIT］を押して"EDIT WRITING OK?"を選び、［+ ▶▶］を押してディスプレイの"NO"を選ぶ

キューパッド、サンプルパッド、ループ演奏データを消去する

① 点灯しているキューパッド、サンプルパッドの [1]～[4] またはLOOP [IN] か [OUT] のいずれか1つをディスプレイに"DATA ERASE OK?"が表示されるまで（2秒以上）押す

② [– ◀◀] を押して、ディスプレイの"YES"を選ぶ

- 演奏中は再生音が停止します。
- ディスプレイに"COMPLETED"が表示され、押したボタンのデータが消去されます。
- 押したボタンのランプが消灯します。
- ［+ ▶▶］を押して"NO"を選ぶと元のディスプレイ表示に戻り、解除されます。

音を変える

準備
- ［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える
- 後面の［MODE］をTURNTABLEにする
- 使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

アナログ感覚で音を変える

CDやSDメモリーカードの音をアナログターンテーブルのような音に変えることができます。

① を押す

- バイナルシミュレーターランプが点灯します。
- 演奏中は設定されたタイプの音に変わります。

②タイプを選択する場合

 を押して、ディスプレイ表示のタイプを選ぶ

- アナログシミュレーションタイプ：TYPE 1～TYPE 8
  1 SL1200：アナログターンテーブルSL1200のような音
  2 MAKE UP：高域、低域を強調したカートリッジのような音
  3 WIDE RANGE：ワイドな特性のカートリッジのような音
  4 VIVID：ビビッドな特性のカートリッジのような音
  5 LOW RANGE：低域成分のみ抽出したモコモコ音
  6 HIGH RANGE：高域成分のみ抽出したシャキシャキ音
  7 OLD RADIO：古いラジオで鳴らしたような音
  8 TELEPHONE：アナログ電話で話したような音
- ボタン操作が5秒以上ないときは、元の表示に戻ります。

- この機能はアナログターンテーブルのカートリッジなどの微妙な音響特性をシミュレートしたものです。接続した外部の機器によってはタイプごとの違いがわかりにくい場合があります。
- ダイナミックエフェクトと重複して使用できます。
- 再度［VINYL SIM］を押すと、解除されます。
- 設定したタイプはメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

パフォーマンスに合わせて音を変える

スリップ面を操作するときに音質を変化させることができます。

① を押す

- ダイナミックエフェクトランプが点灯します。
- 演奏中は設定されたタイプの音に変わります。

② タイプを選択する場合

［TYPE －＋］を押して、ディスプレイ表示のタイプを選ぶ

- 特殊効果タイプ：TYPE 1～TYPE 8
  1 ONE WAY：プラッターを進行方向に操作したときのみ発音させる
  2 TT DIST：音を歪ませる。プラッター操作で歪みの深さが変化
  3 TT WAH：ワウ効果をかける
  4 AIR HAMMER：音を断続的に変化させる
  5 TT PAN：音像をプラッター操作で左右に変化させる
  6 AUTO PAN：音像を周期的に左右に移動させる
  7 CRUSH RING：音を歪ませる。プラッター操作で歪みの速度が変化
  8 RING STORM：音をうねるように歪ませる
- ボタン操作が5秒以上ないときは、元の表示に戻ります。

- CDプレーヤーモードでは効果が異なったり、プラッターを回転しないと音が出ないタイプもあります。
- バイナルシミュレーターと重複して使用できます。
- 再度［DYNAMIC FX］を押すと、解除されます。
- 設定したタイプはメディアごとに記憶され、設定したメディアを入れると復帰します。

サンプルパッドをエディット（変更）する

サンプルパッドに記憶したデータの開始ポイント、終了ポイントおよび音量をエディットすることができます。

① ［SAMPLE EDIT］を押して、エディット項目を選ぶ

押すたびに
START → END → LEVEL / PLAY MODE SELECT → EDIT WRITING OK?

START　：データの開始点（スタートランプ点灯）
END　：データの終了点（エンドランプ点灯）
LEVEL　：音量（スタート、エンドランプとも点灯）
PLAY MODE SELECT：（再生モード設定の場合）
EDIT WRITING OK?　：（メモリーする、しないを選択）

② 録音したSAMPLE PADS ［1］～［4］のいずれか1つを押す

- 押したサンプルパッドが再生され、サンプルパッドランプが点滅します。

③ TRIM［－＋］を押して、データを変える

- ディスプレイに時間またはレベルが表示されます。
- 最小単位
  START、END：1フレーム（1/75 秒）
  LEVEL　：1 dB（－24 dB～＋24 dB）
- エディット中のサンプルパッドを押して、確認できます。
- LEVEL項目はレベルを上げすぎると音が歪みます。
- データを短くしてメモリーした場合、元の長さに戻せません。

④ 他のデータを変える

- 上記手順①～③を行います。

⑤ メモリーする場合

［MEMORY］を押す

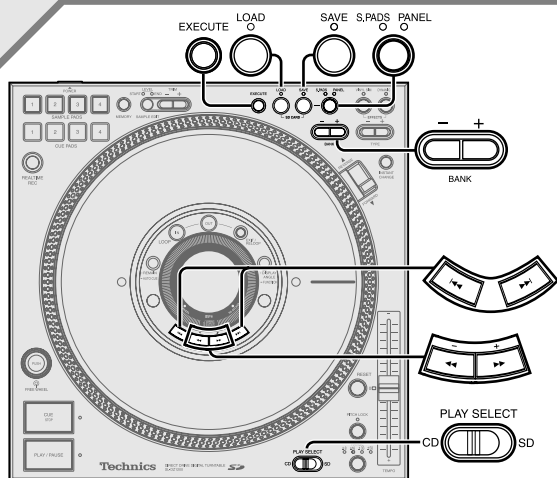
- ディスプレイに“COMPLETED”が表示されて、全てのサンプルパッドが再メモリーされます。
- 押したサンプルパッドランプが点灯に変わり、エディット項目のランプが消灯します。

メモリーしない場合

［SAMPLE EDIT］を押して“EDIT WRITING OK?”を選び、

［＋ ▸▸］を押してディスプレイの“NO”を選ぶ

- 選んだサンプルパッドランプが点灯に変わり、元のデータに戻ります。
- ［－ ◂◂］を押してディスプレイの“YES”を選ぶとメモリーされます。

SDメモリーカードに記録する、呼び出す

準備
- ［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える
- 使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

SDメモリーカードにセーブ（記録）する

本機のサンプルパッド1〜4のデータと、CDまたはSDメモリーカードを入れて1枚ごとに本機で設定したパネルデータを、SDメモリーカードにセーブできます。

1 SDメモリーカードを入れる（⇨11ページ）

- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが“LOCK”されているとセーブできません。解除して入れてください。

2 セーブする

① SD CARD [SAVE] を押す

- セーブランプが点灯し、ディスプレイが“SD SAVE”表示画面になります。

② を押してモードを選ぶ

押すたびに　S.PADS ⇄ PANEL
S.PADS ：サンプルパッド1〜4のデータ
（S.パッドランプ点灯）
PANEL ：**TURNTABLEモードのみ選択可能**
キューパッドデータなどのパネルデータ
（パネルランプが点灯）

③ PANELモードのファイル名は本機で自動的に付与されます。

S.PADSモードの場合のみ

 を押してファイルを選ぶ

- ［− ＋ BANK］を押し続けると、高速送りします。
- ディスプレイ表示の選んだファイルが反転表示されます。
（ファイル例）001ABCDE、002FGHIJ…
- **ファイルに名前を付けることができます。**
（⇨「サンプルパッドのファイルに名前を付ける」右記）
- 途中で止めるときは、［SAVE］を押すと解除されます。

④ を押して実行する

- **ディスプレイに“REPLACE OK?”が表示された場合**（⇨右記）
- セーブが開始し、ディスプレイに“NOW SD SAVING”メッセージが表示されます。サンプルパッドのセーブには、最大で約50秒かかります。
- ディスプレイに“COMPLETED”メッセージが表示されて、セーブランプが消灯しセーブが完了します。

■セーブ中、“REPLACE OK?”が表示された場合

選んだサンプルパッドのファイルにデータが保存されています。
上書きするときは
［− ◀◀］を押してディスプレイの“YES”を選ぶ
セーブしないときは
［＋ ▶▶］を押してディスプレイの“NO”を選ぶ

お知らせ
- 設定したCDまたはSDメモリーカードが入っていないと、パネルデータのセーブはできません。
- 再生中に［SAVE］を押すと、ディスプレイに警告メッセージが表示され、再生が継続します。
- パネルデータのファイル名は、本機で自動的に付与されます。SDメモリーカードへセーブしたパネルデータのファイル名をパソコンなどで変更すると、本機への自動ロード（⇨23ページ）ができなくなります。
- 同じメディアで新たにパネルデータをSDメモリーカードにセーブすると、以前セーブしたファイルに上書きされます。CDのパネルデータは異なるSDメモリーカードに、新たにセーブできます。

■サンプルパッドのファイル名について

- （例）001ABCDE
上位3桁：001〜999の数字（変更不可）
（ファイル数は最大999ファイルです。）
下位5桁：ファイル名（変更可能）
- データがないファイルはファイル名が空欄となります。
- ファイル名を付けずにセーブすると、ファイル名が“＿”（アンダーバー）となります。

■サンプルパッドのファイルに名前を付ける

SDメモリーカードに記録するとき、サンプルパッドのファイルに名前を付けることができます。
左記「セーブする」手順③でファイル選択後

① [＋ ▶▶] を押して、ディスプレイ表示の“NAME”を選ぶ
- ディスプレイが“NAMING”表示画面になります。

② [◀◀I] [▶▶I] を押して、ファイル名の変更する文字を選ぶ
- 下位5桁の選んだ文字が反転表示されます。

③ [− ◀◀] [＋ ▶▶] を押して、入力する文字を選ぶ
- ［− ◀◀］、［＋ ▶▶］を押し続けると、高速送りします。
- 入力できる文字

＿ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R
S T U V W X Y Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

- 途中で止めるときは、［SAVE］を押すと解除されます。

④ 上記手順②〜③をくり返し、名前（下位5桁）を付ける

⑤ [EXECUTE] を押して、セーブする

■サンプルパッドのファイルを削除する

SDメモリーカードのサンプルパッド記録ファイルを削除できます。
左記「セーブする」手順③でファイル選択後

① [− ◀◀] を押して、ディスプレイ表示の“DEL”を選ぶ
- ディスプレイが“SD DELETE”表示画面になります。

② [EXECUTE] を押して、削除を実行する
- 中味のないファイルは削除できません。実行すると“FILE SELECT ERROR”メッセージが表示されます。

■SDメモリーカードに記憶したパネルデータを削除する

SDメモリーカードがメモリーフルになってパネルデータがセーブできなくなった場合、現在入れているメディアに対応するSDメモリーカードのパネルデータを削除できます。
左記「セーブする」手順②で“PANEL”を選択後

[− ◀◀] を押して、ディスプレイ表示の“DEL”を選ぶ
- SDメモリーカードのパネルデータが削除されます。
- 現在入れているメディアに対応するパネルデータがSDメモリーカードにない場合、“DEL”は表示されず、削除できません。

■SDメモリーカードに記憶されるデータ

S.PADSモード（1バンク：最大5.4 MB）
- サンプルパッド1～4のデータ最大32秒

PANELモード
- オートキュー入、切およびオートキューレベル
- キューバンク
- インスタントチェンジ
- ループイン、アウト
- キューパッド1～4
- ダイナミックエフェクト
- バイナルシミュレーター

SDメモリーカードを初期化するには

SDメモリーカードのすべての記録を消去し、フォーマットします。使用できる容量はカードの表示容量より少なくなります。
SDメモリーカードの読み書き異常や、全ファイル消去以外では使用しないでください。

1 SDメモリーカードを入れる（⇨11ページ）

2 SD CARD（SAVE）をディスプレイに“FORMAT OK?”と表示されるまで（5秒以上）押す
- 止めるときは、[SAVE] を押すと解除されます。

3 （EXECUTE）を押して実行する
- ディスプレイに“COMPLETED”と表示され、そのカードのすべての記録が消去され、フォーマットされます。
- ディスプレイに“FORMAT ERROR”と表示されたら、このSDメモリーカードは初期化できません。

SDメモリーカードの記録データをロードする（呼び出す）

■サンプルパッドデータのロード

SDメモリーカードに記録したサンプルパッド1～4のデータをロードします。

1 記録済みSDメモリーカードを入れる（⇨11ページ）

2 ロードする

① SD CARD（LOAD）を押す
- ロードランプが点灯し、ディスプレイが“SD LOAD”表示画面になります。
- S.パッドランプが点灯します。

② （− + BANK）を押してファイルを選ぶ
- [− + BANK] を押し続けると、高速送りします。
- ディスプレイ表示の選んだファイルが反転表示されます。
（ファイル例）001ABCDE、002FGHIJ…
- 途中で止めるときは、[LOAD] を押すと解除されます。

③ （EXECUTE）を押して実行する
- ロードが開始し、ディスプレイに“NOW SD LOADING”メッセージが表示されます。ロードには最大で約25秒かかります。
- ディスプレイに“COMPLETED”メッセージが表示されて、ロードランプが消灯しロードが完了します。

- 再生中に [LOAD] を押すと、ディスプレイに警告メッセージが表示され、再生が継続します。
- ロードすると本機の前のサンプルパッドデータは消滅します。

■パネルデータの自動ロード（TURNTABLEモードのみ）

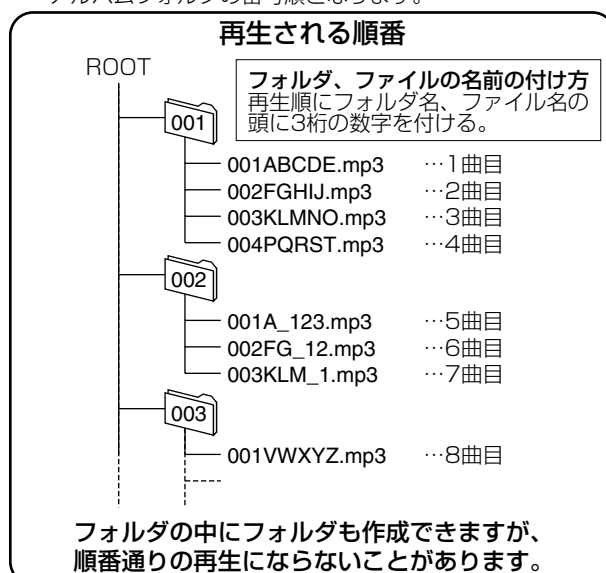
SDメモリーカードに記録したメディアごとのパネルデータが本機メモリーに自動ロードされ、記憶されます。

① [PLAY SELECT] を使用するメディアに切り換え、後面のMODEつまみをTURNTABLE側にする

②パネルデータを記録したSDメモリーカードを入れる

③パネルデータを記録したメディアがCDのときは、そのCDを入れる
- 本機メモリーとSDメモリーカードに同じメディアのデータがある場合、SDメモリーカードが優先され、本機メモリーに上書きされます。本機メモリーを更新したときなど、パネルデータが必要なときは、あらかじめSDメモリーカードへセーブしておいてください。

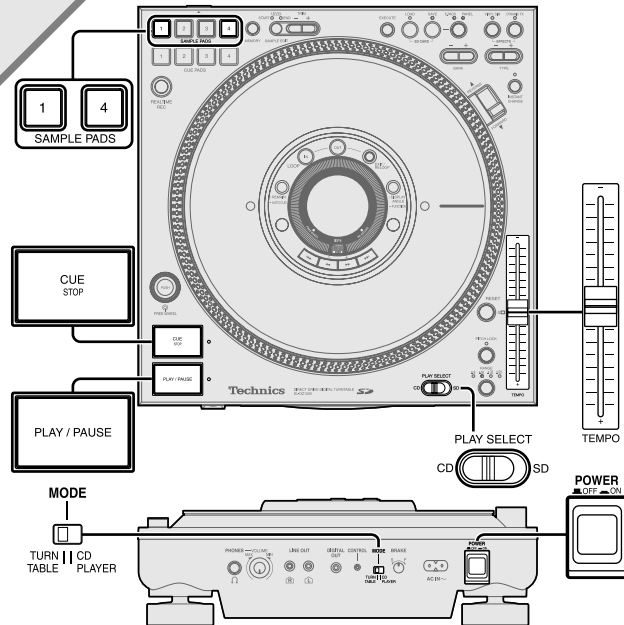
MP3アルバムとSDオーディオについて

■MP3アルバム内の曲の選択、再生順
- CD-R、CD-RWのMP3の場合、アルバムフォルダごとに、アルバムフォルダの番号順となります。

- CD-R、CD-RWの中にMP3ファイル、MP3ファイル以外が入っている場合、MP3ファイルのみ再生します。
ただし、通常のオーディオデータ（CD-DA）とMP3ファイルが同一ディスク内に入っている場合、オーディオデータのみ再生します。MP3ファイルが入っていないフォルダはスキップされます。

■本機で再生できるMP3ファイルを作るには
- CD-R、CD-RWの場合
使用できるフォーマット：ISO9660 level 1、level 2
- パソコン等でフォルダやファイルに名前を付ける場合アルファベット、数字で付けてください。
- MP3ファイルの作成ソフトの説明書もご参照ください。記録状態により再生できない場合があります。
- 本機はID3タグのトラックタイトルのみ表示します。
V1、V1.1（半角英数32文字まで）
- 本機はマルチセッションに対応しています。
セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。
- HighMAT™規格には対応していません。

■本機で再生できるSDオーディオを作るには

別売りのSDオーディオPCレコーディングキットの録音用アプリケーションソフト「SD-Jukebox」とUSBリーダーライターでSDメモリーカードに曲を録音してください。
- SDオーディオPCレコーディングキット：SH-SSK20
- 本機はWMAフォーマットには対応していません。

機器を組合わせて使う

準備
- ［PLAY SELECT］を使用するメディアに切り換える
- 後面の［MODE］をTURNTABLEにする
- 使用するCDまたはSDメモリーカードを入れる

ミキサーでフェーダースタートプレイする

本機とDJミキサーのコントロール端子をミニコードで接続（➪9ページ）して、ミキサーのフェーダーで本機をオートキューポイントまたはキューポイントから瞬時にスタートできます。

準備
- DJミキサーのCH1、CH4の各ボタン、つまみを調整してミックス音がマスターから出力されるようにする。
- DJミキサーのFADER START CH1、CH4をONにする。
- 本機1および2にオートキューポイントを設定する。またはキューポイントを設定しキューバンクを選ぶ。

■チャンネルフェーダーでスタートする

（例）DJミキサーのチャンネルフェーダー操作切換つまみがNORMALの場合

① **DJミキサーのC.FADER ASSIGN Aつまみを1以外に、C.FADER ASSIGN Bつまみを4以外にする**

② **CH1、CH4のチャンネルフェーダーを下へいっぱいに絞る**

③ **本機1および2を再生中または一時停止中に［CUE STOP］を押す（バックキュー）**
- 設定ポイントに戻り、一時停止します。

④ **スタートしたいタイミングでCH1またはCH4のチャンネルフェーダーを上げる**
- 同時に本機1または2が設定ポイントから再生を始めます。

- チャンネルフェーダーを元の位置に戻すと、本機がバックキューして、設定ポイントに戻り一時停止します。

■クロスフェーダーでスタートする

（例）DJミキサーのクロスフェーダー操作切換つまみがNORMALでCH1をスタートさせる場合

① **DJミキサーのC.FADER ASSIGN Aつまみを1に、C.FADER ASSIGN Bつまみを4にする**

② **クロスフェーダーをCH4側（B）へいっぱいに絞る**

③ **本機1を再生中または一時停止中に［CUE STOP］を押す（バックキュー）**

④ **スタートしたいタイミングでクロスフェーダーを手順②と反対方向CH1側（A）へスライドする**
- 同時に本機1が設定ポイントから再生を始めます。

- **CH4に接続した本機2をバックキューしておくと、交互に演奏ができます。**

クロスフェーダーCH4側いっぱい ――― CH4再生 / CH1バックキュー
↑↓
クロスフェーダーCH1側いっぱい ――― CH1再生 / CH4バックキュー

本機2台を使ってリレープレイする

本機2台のコントロール端子どうしを接続（➪10ページ）するとリレープレイができます。

準備：
- 本機2台のオートキューを入にし、演奏曲にオートキューポイントを設定してバックキューする。

先に演奏する側の［PLAY / PAUSE］を押す
- 演奏が開始し、曲が終了すると、待機側が自動的に演奏を開始します。
- 始めに演奏していた側は次の曲のオートキューポイントで一時停止状態になります。

- この繰り返しにより、自動的に本機2台での交互演奏ができます。
- 待機側のメディアを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と演奏することができます。
- 待機側でキューポイントを設定しキューバンクを選んでバックキューしておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。

お知らせ
- 演奏側の電源が切れた場合は、もう一方の待機側が演奏を始めることがあります。
- フェーダースタートとリレープレイは同時に行なうことはできません。

アンプなどを使う

別売り機器の入力端子に合った接続をします。（➪10ページ）
- 本機のDIGITAL OUT端子を使用する場合、SDオーディオは出力されません。

1 **別売り機器をスタンバイ状態にする**

2 **［PLAY / PAUSE］を押して演奏する**
- 別売り機器に再生音が出力されます。

違う曲どうしをつなぐ

(例) 現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次に演奏する曲BをDJミキサーでつなぐ。

準備：
- 本機1（曲A）をDJミキサーのCH1へ、本機2（曲B）をCH4へ接続する。（⇨9ページ）
- DJミキサーのCH1、CH4の各ボタン、つまみを調整してミックス音がマスターから出力されるようにする。
  （DJミキサーの取扱説明書を参照してください。）
- クロスフェーダーをCH1側にし、曲Aを演奏する。
  （マスター出力（スピーカー）から曲Aの音だけが出ています。）

1 **DJミキサーのモニター（ヘッドホン）音で曲Bの頭出しをする**
（DJミキサーの取扱説明書を参照してください。）
- 曲の頭出しポイント（一拍目）を探して、キューポイントを設定する。

2 スピーカーからの曲Aに合わせて、曲B側の [PLAY / PAUSE] **を押して、曲Bを演奏する**
- スピーカーからは曲Aだけが、モニターヘッドホンからは曲Bの音が出ています。

3 **曲B側の［TEMPO］を動かして、曲Aと曲Bの速さ（BPM）を聴感で合わせる**
- 曲AのディスプレイのBPM値と、曲BのBPM値が同じになるように曲B側の［TEMPO］を調節し、目安にする。

BPM 120BPM +31.0% REC AUTO CUE CUE BANK=8

4 曲B側の
スリップ面を止めて [CUE STOP] **を押し、**
キューポイントに戻す

5 再度曲Aに合わせて、曲B側の [PLAY / PAUSE] **を押して、曲Bを演奏する**

6 **モニター（ヘッドホン）音で確認しながら、ミキサーのクロスフェーダーを徐々にCH4側に動かす**
- スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
- クロスフェーダーを完全にCH4側にしたとき、曲Aから曲Bへのつなぎは完了です。

本機メモリーを初期化する

本機のメモリー内容を初期化して、工場出荷時に戻すことができます。
初期化すると、次のメモリーが消去されます。
- キューバンク、キューパッド、ループ演奏
- バイナルシミュレーター、ダイナミックエフェクトの設定
- オートキュー入、切設定、オートキューレベル設定
- インスタントチェンジ設定

以上のメディア50枚分のデータ
- 表示方向、表示の濃さ設定

電源切のとき

SAMPLE PADS [1] と [4] を押しながら、

を押して電源を入れ、

ディスプレイに“INITIALIZED”と表示されたら

[1] と [4] **を離す**
- 本機のメモリーが初期化されます。
- ディスプレイが元の表示に戻り、動作ができます。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

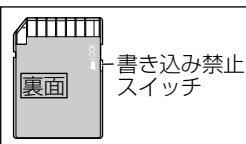
SDメモリーカードについて／お手入れ／CDについて

SDメモリーカードについて

■取扱上のお願い
以下のことは避けてください。
- 分解する、改造する
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らす
- 金属端子部を手や金属で触る
- 貼られているラベルをはがす
- 新たにラベルやシールを貼る

■保管上のお願い
- 本体から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 高温になる車の中や、直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところや、ほこりが多いところには置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

■大切なデータを保護するために

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに記憶するときは解除してください。
- メモスペースがある場合、そこに文字を書くときはフェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは使用しないでください。カード本体に損傷を与えたり、データが破壊されたりすることがあります。
- 電源入の状態（ディスプレイが表示中）では、電源コードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。
- 再生中など本体を動作させているときは、カードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。

使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量（8 MB ～1 GB まで）のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB 、 16 MB 、 32 MB 、 64 MB
128 MB 、 256 MB 、 512 MB 、1 GB まで

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio
- SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
  また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
  このようなときは本機でフォーマットを行なってください。
- 本機はSD規格に準拠したFAT12 、FAT16 形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

お手入れ

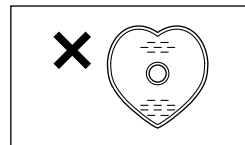
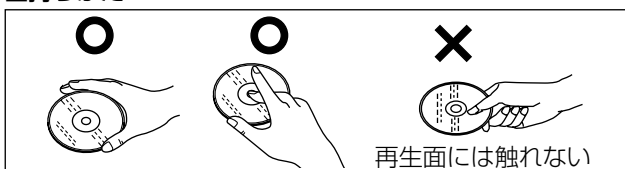
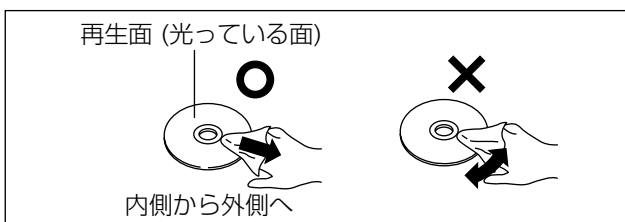
■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CDレンズクリーナーは使用できません。
特殊構造メカニズムのため、CDレンズクリーナー（品番：RP-CL510）を使用すると、CDレンズの劣化や故障の原因となります。

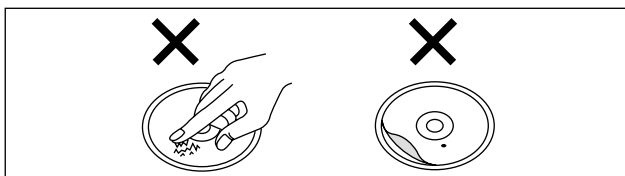
- SDロゴは商標です。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multi-media からライセンスを受けています。

CDについて

のマークが入ったものをご使用ください。

- ただし、ハート型など、特殊形状のCDはご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります）
- 上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。
- 総演奏時間80分以上のCDは、本機では80分を越える部分の再生はできません。
- CDによっては再生時にノイズが乗ったり、総曲数が正しく読み取れないことがあります。このような場合はCDを入れ直してください。
- 音楽記録部分が半透明のCDは、本機では使用できない場合があります。
- 汚れたCDはご使用にならないでください。

■持ちかた

■汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■露がついたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したCDは使わない

■保管しておくとき
次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Q&A（よくあるご質問）／こんな表示が出たら

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	アナログプレーヤーをつなぎたい	アナログプレーヤーの接続はできません。DJミキサーに接続してご使用ください。	9
	スピーカーをつなぎたい	スピーカーの接続はできません。DJミキサーまたはアンプに接続してご使用ください。	10
	光デジタル接続で録音したい	本機には光デジタル出力端子はありません。本機のDIGITAL OUT端子にピンコードを接続してご使用ください。	10
	マルチメディアカード（MMC）やメモリースティックは使える？	使用できません。SDメモリーカードが使用できます。	11〜13
CD	DVD-ビデオやビデオCDは再生できる？	再生できません。	26
	MP3で記録されたCD-R/RWは再生できる？	再生できます。記録状態によって再生できない場合があります。一部の機能に動作制約があります。	12
その他	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。	—

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
CAN NOT EJECT	• 現在CDは取り出しできません。	一時停止して、取り出してください。
CUE BANK ERROR	• オートキューポイントを設定後、キューバンクを選ばないでキュー設定をしようとしました。	先にキューバンクを選んでください。
DATA ERROR	• このデータに異常があります。	正しく記録されたSDメモリーカードをご使用ください。
FAILED	• SDメモリーカードのセーブ、ロードまたはフォーマットが異常終了しました。	セーブまたはロードをやり直す。または新しいSDメモリーカードでセーブしてください。
FILE SELECT ERROR	• ファイル選択が間違っています。	正しいファイルを選択してください。
FORMAT ERROR	• このSDメモリーカードはフォーマットできません。	新しいSDメモリーカードをご使用ください。
NO CD AUDIO TRACK	• 認識できないディスクが入っています。 • CDが裏返し挿入されています。	CDを正しく入れてください。
NO DATA	• サンプルパッドのデータがないのにSDメモリーカードにセーブしようとしました。	
NO DISC	• CDが入っていません。	CDを正しく入れてください。
NO PANEL MODE	• CDプレーヤーモードではパネルデータのセーブ操作ができません。	ターンテーブルモードでセーブ操作を行ってください。
NO REMAIN	• MP3ファイルのときは残り時間が表示できません。	
NO SD AUDIO TRACK	• このSDメモリーカードには音楽トラックがありません。 • 故障など認識できないSDメモリーカードが入っています。	正しく記録されたSDメモリーカードをご使用ください。
NO SD CARD	• SDメモリーカードが入っていません。	SDメモリーカードを正しく入れてください。
REPLACED OLD PANEL DATA	• 使用履歴が古いメディアのパネルデータを置き換えました。本機は50以上のパネルデータは記憶できません。	SDメモリーカードにセーブするか、本機メモリーを初期化してください。
SD CARD FULL	• このSDメモリーカードにはこれ以上記憶できません。	新しいSDメモリーカードをご使用ください。
SD CARD PROTECTED	• このSDメモリーカードはライトプロテクトされています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
SD LID OPEN	• SDカードスロット部フタが開いています。	フタは必ず閉めてください。
TRACK ERROR	• このトラックは再生できません。 • このトラックデータは読みとれません。	他のトラックを選択するか、正しく記録されたメディアに交換してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
システム全体に共通	左右の音が逆になる。	ステレオピンコードを左右逆に接続していませんか。	ステレオピンコードを正しく接続する。	9〜10
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。電源コードを逆に差しかえてみる。	—
	片側のスピーカーから音が出ない。	ステレオピンコードがはずれていませんか。	ステレオピンコードを正しく接続する。	9〜10
	音が歪む、雑音が出る。	出力コードが正しく接続されていますか。	DJミキサーのLINE入力端子へ接続する。PHONO端子へは接続しないでください。	9〜10
	テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	本機が影響していませんか。	本機の電源を切るか、テレビなどから離す。	—
CD	CDを入れると、表示部に“NO CD AUDIO TRACK”と表示される。	CDが表裏逆に入っていませんか。	もう一度入れ直す。	11
		規格外のCDを使用していませんか。	規格に合致したCDと取り替える。	26
		CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	
	再生ボタンを押しても再生が始まらない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	—
	雑音が出る、または特定の箇所が正常に再生しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	26
	≜CD EJECTボタンを押してもCDが出てこない。	TURNTABLEモードでは演奏中は取り出しできません。	停止または一時停止後に取り出してください。 ディスクの強制排出を行っても取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	11
SDオーディオ	SDメモリーカードを入れると、表示部に“NO SD AUDIO TRACK”と表示される。	SDオーディオでない音楽ファイルが入っていませんか。	別売りのSDオーディオPCレコーディングキットで曲を録音する。	23
操作	プラッターが回らない。	フリーホイール状態になっていませんか。	PUSHボタンを押して解除する。	14
		CDプレーヤーモードになっていませんか。	本機後面のMODE切換つまみをTURNTABLE側にする。	14
	演奏中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	キューポイントを設定していますか。	キューポイントを設定する。	18
	LOOP OUTボタンを押してもループ演奏にならない。	ループインポイント（スタートポイント）を設定していますか。	ループイン、ループアウトポイントを設定し、ループを作る。	19
	メディアを入れると本機で設定したパネルデータの設定が入れ替わっている。	同じメディアのパネルデータを記録したSDメモリーカードを入れていませんか。この場合、SDメモリーカードが優先され、パネルデータが本機メモリーに上書きされます。	本機メモリーを更新したときなど、パネルデータが必要なときは、あらかじめSDメモリーカードへセーブしてください。	23

• 本機で測定したBPM値が、CDの記載値と異なる場合がありますが、これはBPM値の測定方法などが違うためであり、故障ではありません。

主な仕様／用語解説／別売り品のご紹介

主な仕様

■再生メディア

CD（12 cm）	： 音楽用CD（CD-DA） CD-R/RW（CD-DA、MP3）
SDメモリーカード	

■CD-MP3再生フォーマット

MP3対応ビットレート	： 32 kbps～192 kbps （推奨128 kbps）
MP3対応 サンプリング周波数	： 48 kHz／44.1 kHz／32 kHz

■SDオーディオ再生フォーマット

音楽伸張方式	： MPEG2—AAC／MP3
対応サンプリング周波数	： 48 kHz／44.1 kHz／32 kHz

■オーディオ

チャンネル数	： 2チャンネル（ステレオ）
周波数特性※	： 4 Hz～20 kHz
出力電圧	： 2 Vrms（0 dB）（JEITA）
出力端子	： ピンジャック

■デジタルオーディオ出力

同軸デジタル出力	： ピンジャック

■ヘッドホン

出力レベル	： 最大20 mW　32 Ω　負荷（可変）

■ピックアップ

光源	： 半導体レーザー
波長	： 790 nm

■総合

電源	： AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	： 18 W
寸法（幅×高さ×奥行）	： 320×111×330 mm
質量	： 約5.8 kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※ この仕様は、CDプレーヤーモード、CDオーディオ再生、テンポをリセット状態にしたときの値です。

用語解説

• SDオーディオ

SDメモリーカードのオーディオ規格です。著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するために、暗号技術を利用しています。データのコピーなどは制限があります。データの作成にはSD-Jukeboxなどをご使用ください。

• キュー

演奏を開始すること。本機ではキューポイントとして曲頭や曲中の任意のポイントを記憶しておき、これらのポイントから瞬時に演奏を開始するような使い方をします。

• プラッター

アナログターンテーブルでレコードを載せる回転部分のこと。本機はデジタルターンテーブルですが、アナログターンテーブルと同じプラッターの操作で同等の再生制御を行うことができます。

• MP3アルバム

パソコンなどでMP3ファイルを多数作りCD-ROMに書き込む場合に、ファイルをフォルダごとに分類して入れることができます。このフォルダを本機ではアルバムと呼びます。本機で順番に演奏する場合は、001、002などの数字でアルバム名を設定してください。(⇨23ページ)

• AAC

国際標準規格のMPEG2に含まれる、高音質で記録再生することが可能な圧縮方式です。SDオーディオやBSデジタル放送に採用されています。

• MP3

国際標準規格のMPEG1/Audio Layer3のことです。ビットレート128 kbpsにおいて1/10程度の圧縮率を得ることができます。SDオーディオ、CD、パソコンなどで広く使われています。

• サンプリング周波数

音声信号をデジタル化し記憶する、1秒間あたりの回数のことです。この値が高いほど広い周波数帯域でデジタル化できるので原音に近い音が再現できますが、音声データの容量も大きくなります。

• ビットレート

音声信号の圧縮率を表す値です。1秒間あたりのビット数で表し、この値が大きくなるほど情報量も多くなるため音質は良くなりますが、音声データの容量も大きくなります。

別売り品のご紹介

2004年3月現在のものです。品番は変更されることがあります。

• DJミキサー	：SH-MZ1200
• ヘッドホン	：RP-DH1200
	：RP-DJ1200
• アンプ	：SU-A707/SU-A808
• SDオーディオ PCレコーディングキット	：SH-SSK20
• ステレオピンコード	：RP-CAP3G10（1.0 m）
• ピンコード（RCA同軸）	：RP-CVPOG20（2.0 m）
• ミニコード	：RP-CAM3G15（1.5 m）
• SDメモリーカード	：RP-SD032BL1A（32 MB）
	RP-SD064BL1A（64 MB）
	RP-SD128BL1A（128 MB）
	RP-SDH256L1A（256 MB）
	RP-SDH512L1A（512 MB）

保証とアフターサービス

修理·お取り扱い·お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日·販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

28ページの表「故障かな!？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断·故障個所の修理および部品交換·調整·修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　　名	ダイレクトドライブ デジタルターンテーブル
品　　番	SL-DZ1200
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、テクニクス製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

さくいん

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	SL-DZ1200
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT7113-1S
M0304TK4025